

# 平成29年11月5日（日） 仙台市総合防災訓練（津波避難訓練） アンケート調査集計結果

## 1 調査目的

津波避難の現状や防災意識を調査し検証することにより、今後の津波避難対策の参考とする。

## 2 調査対象者及び回収数

### (1) 調査対象者

津波避難訓練において、津波避難エリア内及び周辺の避難場所（小・中学校、津波避難施設等）へ避難された方（地域住民、事業所従業員等：1,042人）。

### (2) 有効回収数

561票

## 3 調査機関

仙台市危機管理室減災推進課

## 4 調査集計結果概要

### ・避難時間

地震発生時刻後15分以内に避難を開始した方が88%、30分以内に避難場所に到着した方が89%、45分以内に到着した方が95%であった。

### ・移動手段

「徒歩」又は「自転車・バイク」が92%、「車」が7%であった。

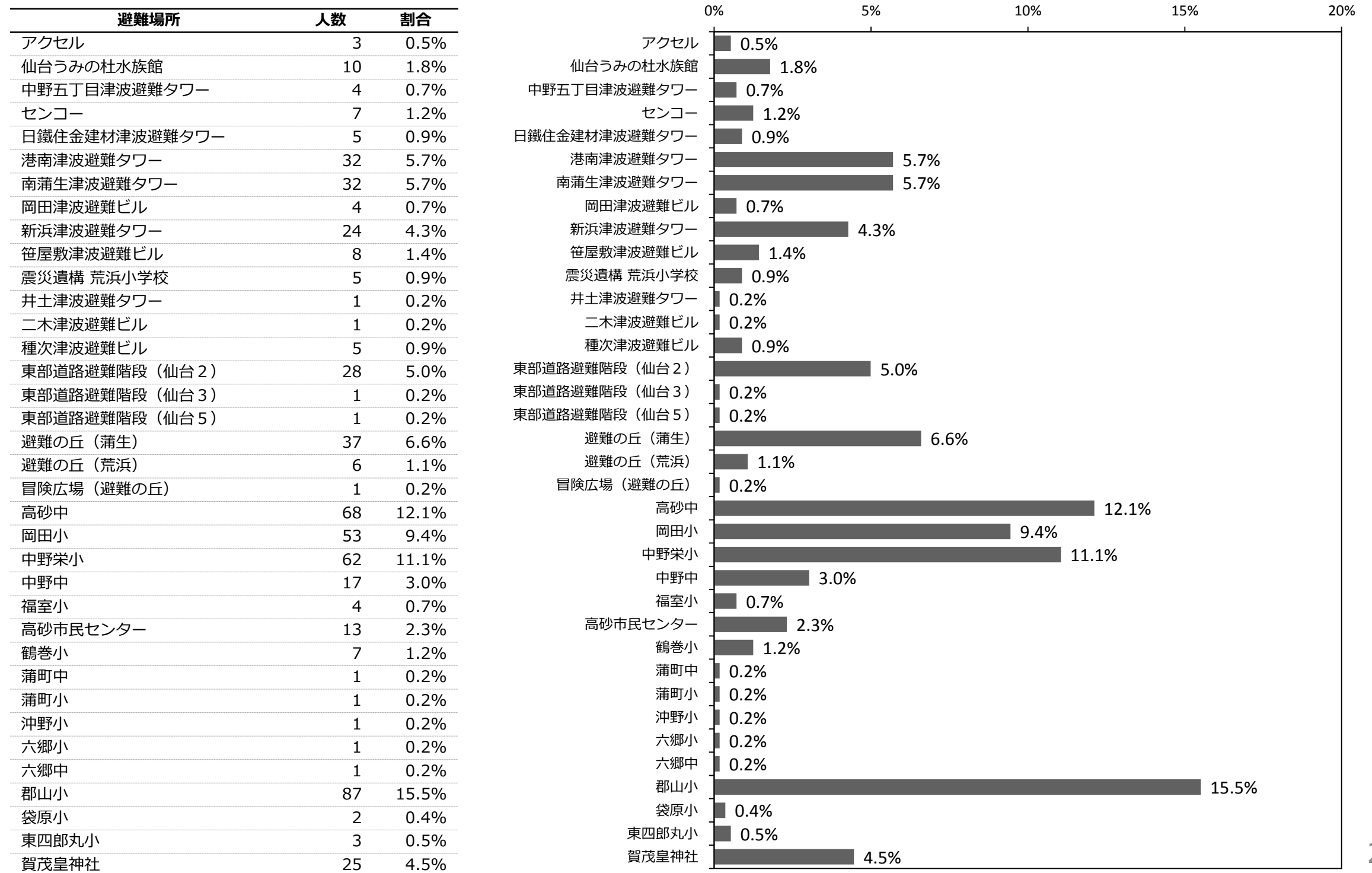
### ・平時からの備え

避難場所を決めている方が88%、非常用持出袋を用意している方が59%であった。

結果詳細は次ページ以降に掲載

- ※ この調査結果は、津波避難訓練に参加された方（地域住民、事業所従業員等：1,042人）のうち、アンケートに回答された方（有効回収数：561票）についてまとめたものである。
- ※ Nとは、その設問項目の回答数である。
- ※ %値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記してあり、合計が100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答では、回答件数の合計が回答者数（100%）を超える場合がある。

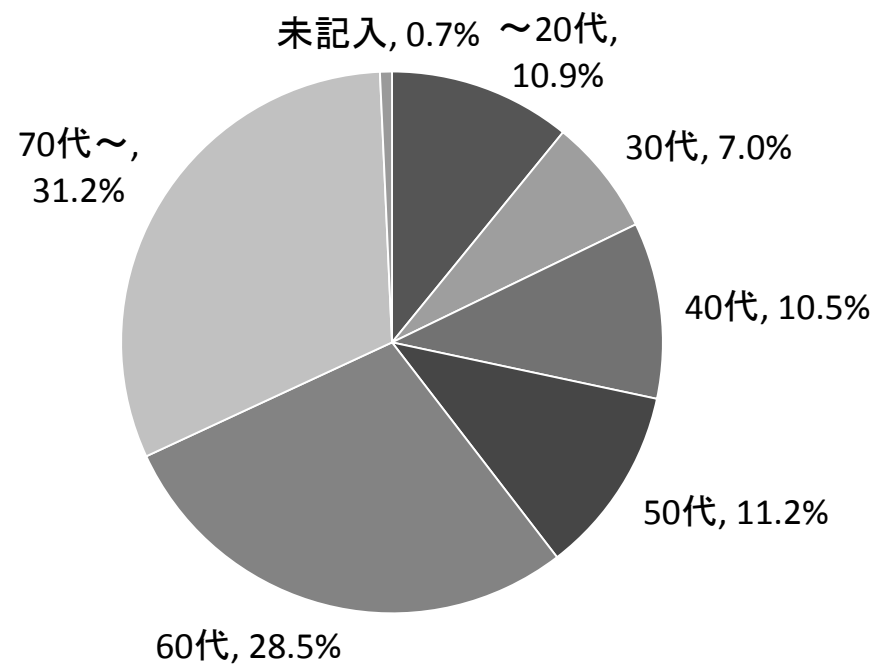
## ■各避難場所におけるアンケート回収状況（N=561）



## ■回答者の構成 (N=561)

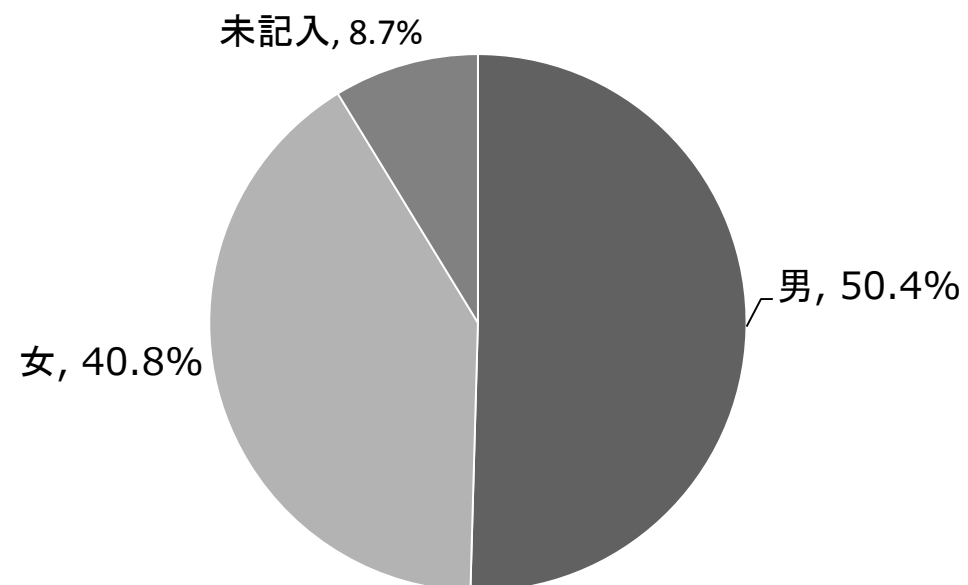
### 年代

	人数	割合
～20代	61	10.9%
30代	39	7.0%
40代	59	10.5%
50代	63	11.2%
60代	160	28.5%
70代～	175	31.2%
未記入	4	0.7%



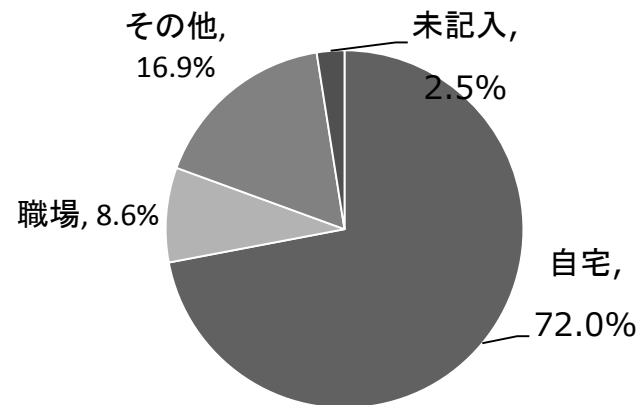
### 性別

	人数	割合
男性	283	50.4%
女性	229	40.8%
未記入	49	8.7%



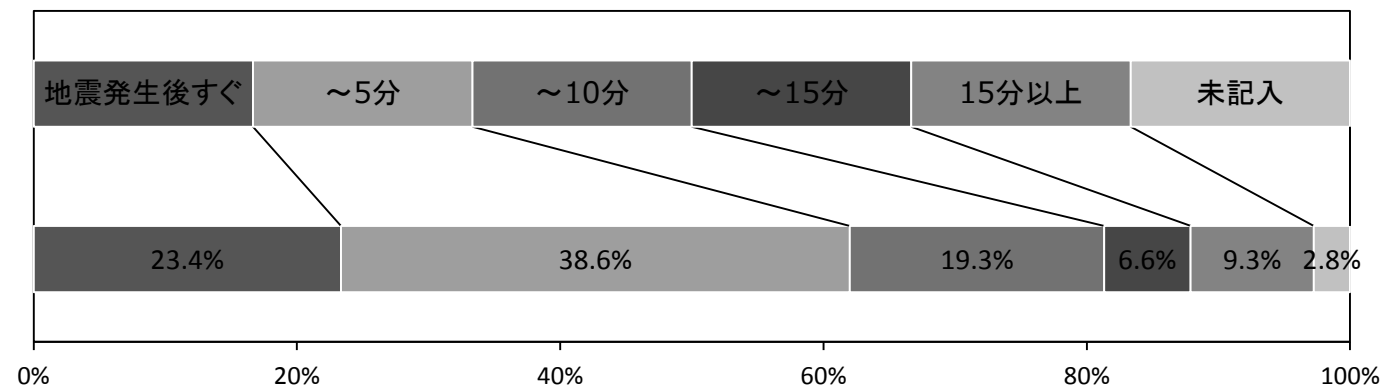
## ■地震発生時刻（8時30分）の所在（N=561）

	人数	割合
自宅	404	72.0%
職場	48	8.6%
その他	95	16.9%
未記入	14	2.5%



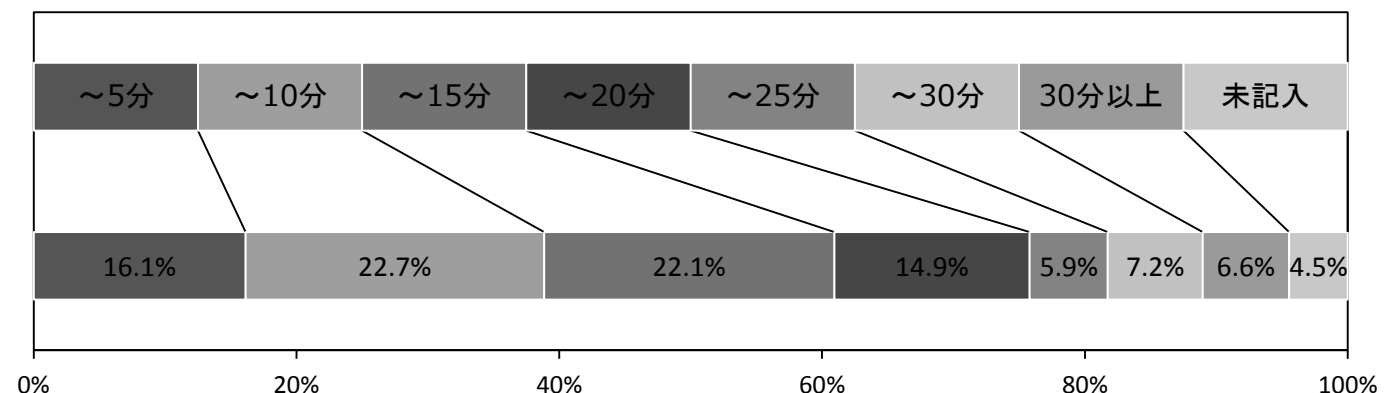
## ■地震発生時刻（8時30分）から避難開始までの所要時間（N=471（無効票90票を除く））

	人数	割合
地震発生後すぐ	110	23.4%
～5分	182	38.6%
～10分	91	19.3%
～15分	31	6.6%
15分～	44	9.3%
未記入	13	2.8%



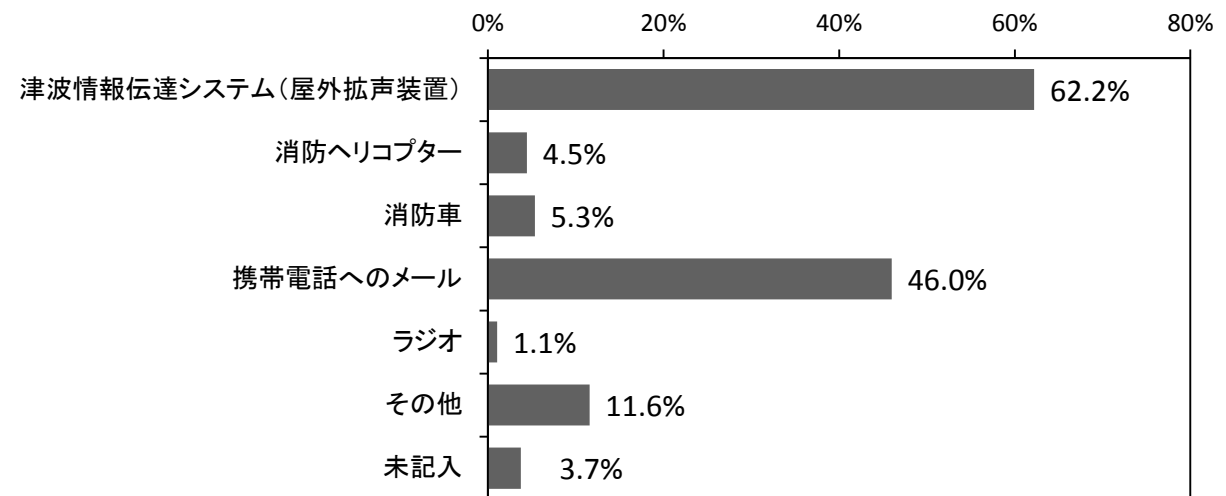
## ■地震発生時刻（8時30分）から避難場所へ到着するまでの所要時間（N=471（無効票90票を除く））

	人数	割合
～5分	76	16.1%
～10分	107	22.7%
～15分	104	22.1%
～20分	70	14.9%
～25分	28	5.9%
～30分	34	7.2%
～35分	4	0.8%
～40分	12	2.5%
～45分	10	2.1%
～50分	3	0.6%
～55分	0	0.0%
～60分	1	0.2%
60分～	1	0.2%
未記入	21	4.5%



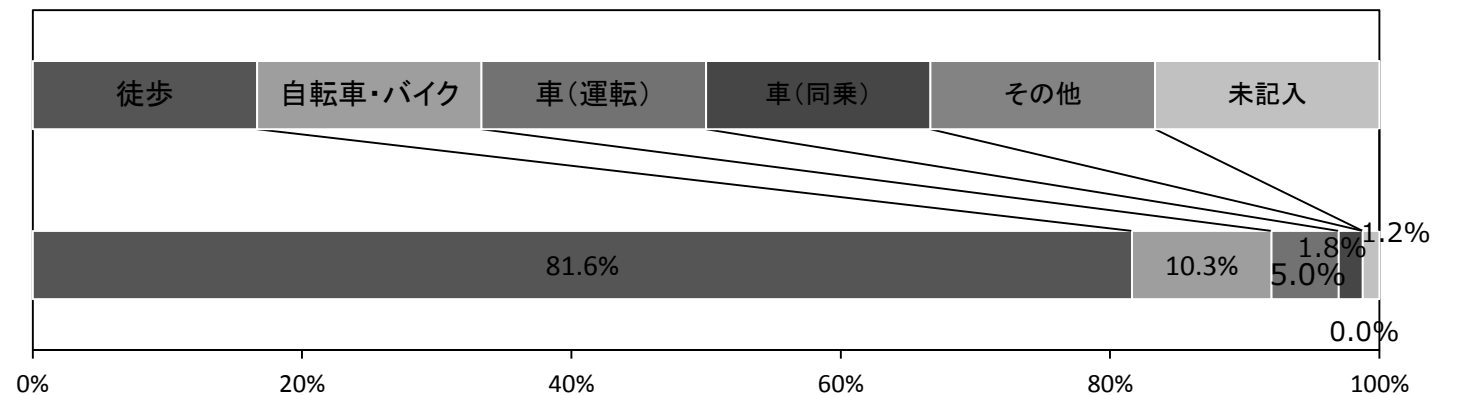
## ■ 訓練における大津波警報（津波情報）の入手手段（N=561）（複数回答）

	人数	割合
津波情報伝達システム （屋外拡声装置）	349	62.2%
消防ヘリコプター	25	4.5%
消防車	30	5.3%
携帯電話へのメール	258	46.0%
ラジオ	6	1.1%
その他	65	11.6%
未記入	21	3.7%



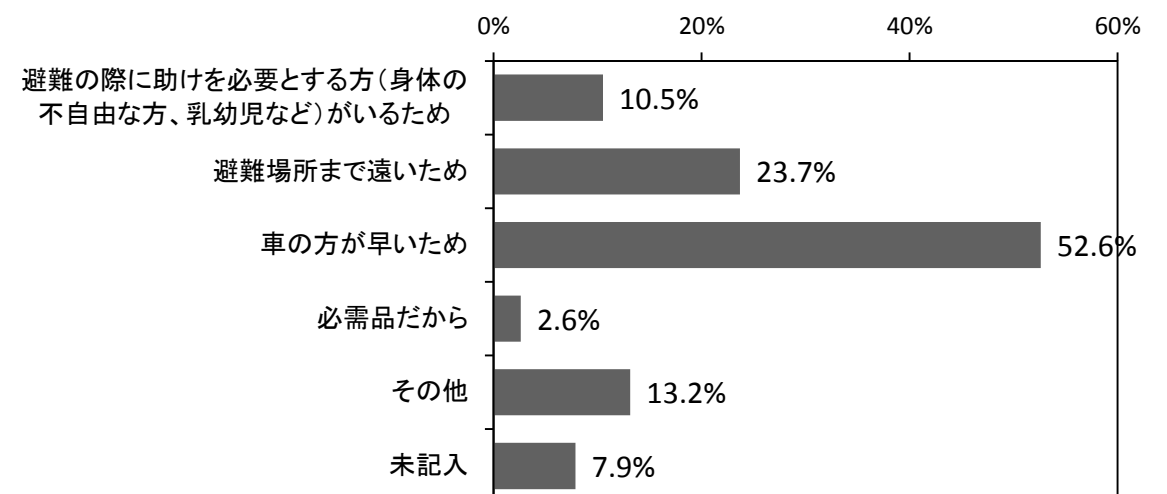
## ■ 避難手段（N=561）

	人数	割合
徒歩	458	81.6%
自転車・バイク	58	10.3%
車（運転）	28	5.0%
車（同乗）	10	1.8%
その他	0	0.0%
未記入	7	1.2%



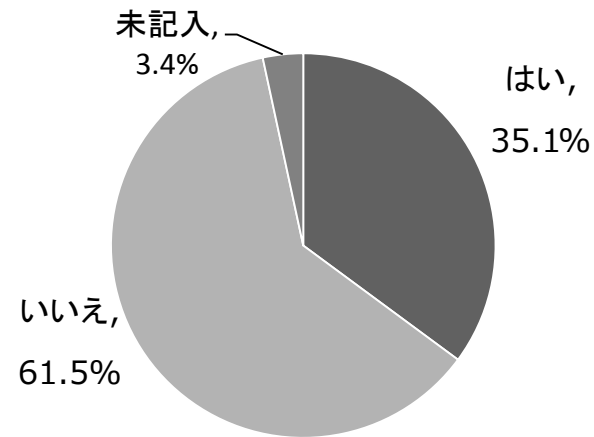
## ■（前問で「車」を選んだ方）車の選択理由（N=38）（複数回答）

	人数	割合
避難の際に助けを必要とする方（身体の不自由な方、乳幼児など）がいるため	4	10.5%
避難場所まで遠いため	9	23.7%
車の方が早いため	20	52.6%
必需品だから	1	2.6%
その他	5	13.2%
未記入	3	7.9%



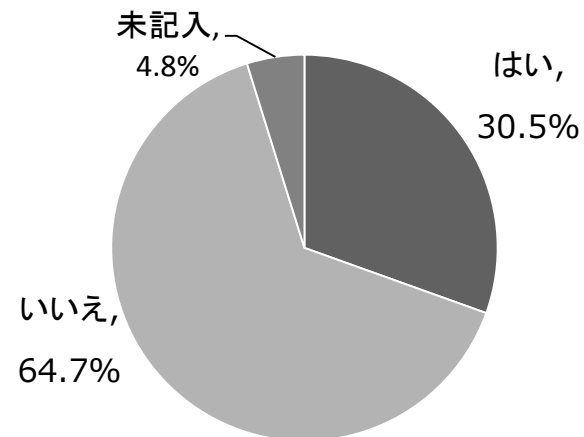
■ 隣近所へ声をかけたか (N=561)

	人数	割合
はい	197	35.1%
いいえ	345	61.5%
未記入	19	3.4%



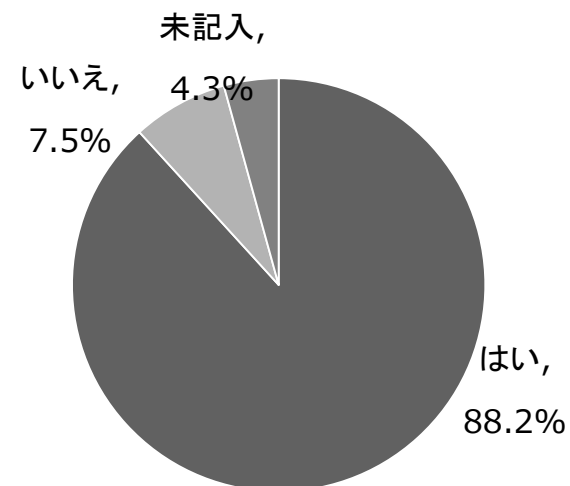
■ 隣近所から声をかけられたか (N=561)

	人数	割合
はい	171	30.5%
いいえ	363	64.7%
未記入	27	4.8%



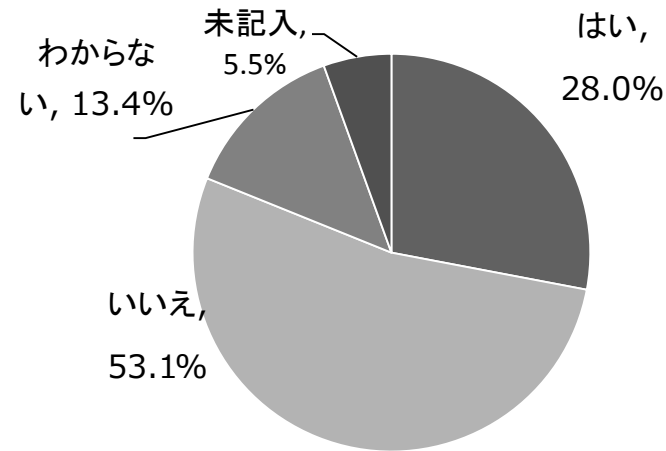
■ 避難場所を決めているか (N=561)

	人数	割合
はい	495	88.2%
いいえ	42	7.5%
未記入	24	4.3%



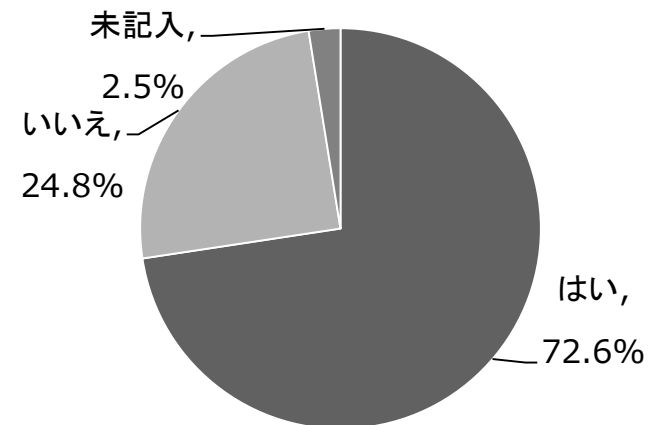
■ 家族や近所に避難困難者がいるか (N=561)

	人数	割合
はい	157	28.0%
いいえ	298	53.1%
わからない	75	13.4%
未記入	31	5.5%



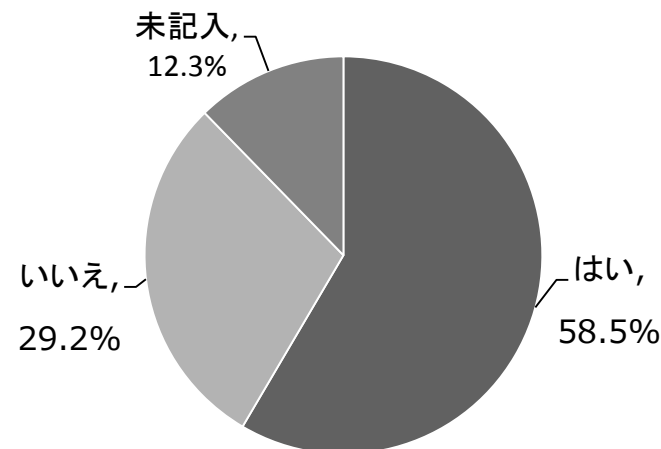
■ (前問で「はい」を選んだ方) 避難支援方法を決めているか (N=157)

	人数	割合
はい	114	72.6%
いいえ	39	24.8%
未記入	4	2.5%



■ 非常用持出袋を用意しているか (N=561)

	人数	割合
はい	328	58.5%
いいえ	164	29.2%
未記入	69	12.3%



## ■ 訓練についての感想や意見 (N=130) <抜粋>

### <訓練内容>

- 今回、実際に行なってみて、避難場所への道で迷ってしまったので、参加していてよかったです。
- 訓練に参加してみて防災メールが届く早さが各社違いがあることに改めて気づかされた。普段から避難する場所・連絡方法を家族と再確認しようと思った。
- 車で避難すべきか、徒歩で避難タワーに避難すべきか迷いました。
- 体育館訓練も必要。
- 避難場所等を示す標がもっと多くあると良いと思いました。
- 避難所の準備が整いすぎ。少なくともスタッフも発生時には自宅等にいるべき。
- 野球の試合でグラウンドを利用するので良い勉強になりました。
- 他県からですがよい経験になりました。
- マンネリ化しているのではないかと思います。
- 屋上まで登れない人はどうすれば良いか。
- 津波を想定した避難訓練、歩いてみると、距離や道路状況を知ることが出来た。

### <防災意識>

- 日頃から避難に対しての意識を高める必要があると感じた。
- 11月5日の津波の日がもっと広まるとよい。各自の避難のしかたが決まっているか把握する努力を。
- 介護施設です。普段から近隣の方と協力を図っていかれたらと思います。
- 今回は訓練でしたが、やはり声かけをしていただき、避難すべきか判断できたので、そういう人から人への声かけは大切だと感じた。
- 年1回でなく数回必要と思う。
- 地域での連絡がいま一つ。せっかくの訓練なので無駄にしないように。
- もう少し人が避難してくれると良かったと思います。
- 体の不自由な方も参加してもらおうよう積極的に働きかけ訓練に役立たせるとよい。
- 津波避難に関する関心が高まっております。前回より多くの町民が訓練に参加したようです。

### <その他>

- 新聞では訓練概要が分からず、突然のメール着信だった。
- 屋外拡声装置からの音声が聞きとり辛いです。訓練があると知っていたので避難できましたが、言っている言葉の内容はほとんどわかりませんでした。